

平成 27 年度 第 1 回 介護・医療連携推進会議 記録

● 事業所情報

法人名	株式会社エイプレイス
事業所	エイプレイス新宿

● 開催日時・場所

日時	平成 27 年 7 月 24 日 (木) 15:00~16:00
場所	エイプレイス新宿 会議室

● 参加者 (順不同)

NO	所属 (役職)	氏名
1	なでしこ園	A 様
2	ジャパンケア高田馬場	B 様
3	ジャパンケア新宿	C 様
4	ジャパンケア新宿	D 様
5	ジャパンケア新宿	E 様
6	東電さわやかケア神楽坂・居宅介護支援	F 様
7	白十字訪問看護ステーション	G 様
8	エイプレイス新宿	植木 富生
9	エイプレイス新宿	池田 里美
10	株式会社エイプレイス 介護事業部	山本 八寸代
11	ホームネット株式会社	玉本 龍介

● 議事

NO	議事内容
1	定期巡回連携型の説明
2	事例発表
3	システムについて
4	その他質疑応答

● 記録

議事 1	定期巡回連携型の説明
	現在川崎でやっている他事業所との連携を今後新宿でも展開していく予定。 それに向けて行政に確認を取り、他事業所に説明をしていく。
議事 2	事例発表
	<p>96 歳女性 要介護 3</p> <p>身体状況：アルツハイマー型認知症・慢性心不全・肺MAC症 生活状況：ご主人と二人暮らし。上の階に娘夫婦が住んでいる。 医療ニーズ：排便コントロール・服薬管理 導入経緯：退院にあたり生活状況を把握するために定期巡回の導入となる。 本人の意向：夫婦二人でこのまま生活していきたい。 看護サービス：アセスメントのみ 看護助言：転倒に注意</p> <p>《支援経過》</p> <p>7月1日よりサービス開始。サービス内容は排泄介助・配下膳 毎日 10:00~10:20、朝の体調によって昼に確認のため訪問する。 朝の訪問時覚醒不良のときがあり、ご飯を食べていないときは配膳をし、昼にもう一度訪問して食べたかどうかを確認しました。 現在は体調も安定してきているのでデイを再開予定になっています。</p> <p>導入後の効果：朝の状態を追加訪問することにより食事摂取状況がわかり、体調も安定してきた。 今後のケアの方向性：今の状態を維持していけるように、必要に応じて訪問回数を増やすなどの対応を継続していき、在宅生活が継続できるよう支援していく。</p>
議事 3	システムについて
	<p>担当しているご利用者様の情報だけをリアルタイムで確認できる</p> <p>《麻生でのスマケア事例》</p> <p>娘様にもURLを渡し、会社に居ながらにして母親の様子ヘルパーの出入りなどをリアルタイムで確認できる。 ヘルパーの特記で母親が不穏であるとの報告に仕事を早く終わらせ帰るなどの対応ができる。 忙しくステーションに戻らない訪問介護の場合利用者宅にタブレットを置き、訪問看護用のカードをつくり情報共有。</p>
議事 4	その他質疑応答
質問 1	平均介護度は？
回答 1	<p>要介護 3.5</p> <p>他事業所意見：要介護 4・5 が多く平均介護度が 3 を超える</p>

	⇒今後低い介護度の方でも定期巡回が使えるのでケアマネに向けて周知活動
質問 2	利用者の情報が一杯になった場合、どうすればいいか？
回答 2	サーバーで容量を増やす。
質問 3	月に 500～600 回の訪問回数になるがタブレットなどの管理はどうしているか？
回答 3	タブレットを 1 台利用者宅に置き、利用者タグは一枚で事業所ごとの ID カードを作って渡す。

議事録作成	植木富生
-------	------

以上